

一問一答方式による一般質問



市長の政治姿勢

田村 宏



問 過去の井口市政の不始末、数え上げれば枚挙にいとまがない。たった100リットルの軽油流出事故に六千何百万円もの巨費を投じた。たった100リットル、吸着マットで搾り取って中和剤をまけば済む量であることは、論を待たずでもないと思う。

また「千年希望の丘」の草刈りに関して、前市政は井口が経営している会社に随意契約で何千万円もの金を垂れ流し、ぬれ手で粟の金を（毎年）3千万円近く、市の税金を無駄遣いしていた。

これは4期の長期政権、前市長の2期、合計24年にわたる井口の岩沼市政に対する姿勢と影響力の弊害だと私はかねがね思っていた。それを是正すべく、老体にむち打って、同じ土俵に上がらないとこれを是正できないと、市議会議員に躍り出てきた。

新市長はその不始末、からくりをひもといて糾弾してもらいたい。それが市長の第一の仕事であると思うが、今後の取り組みについて伺う。

市長 井口元市長の市政は8年以上さかのぼることになります。予算の執行については市議会の場でさまざまな議論があり、適正に行われてきたものと認識しています。

悪魔のささやきはないか

問 これから市政のかじ取りに当たり、今回の市長選の裏事情を聞いている。（元市長は対抗馬の）前県議側の応援に回り、新市長・新県議を裏からリモートコントロールするということ、悪魔のささやきがあったと聞き及ぶがどうか。

市長 悪魔のささやきがあったか、無かったかということですが、市政に関わることはありませんので発言は控えます。

選挙では市民目線で、変えるところは変えていくことを訴えてきました。岩沼の良い部分を大切にしながら、時代や環境の変化を柔軟に受け入れ、さらなる市勢の発展と市民生活の質の向上を目指し取り組んでいきます。



企業誘致

佐藤 一郎



問 矢野目西地区の開発は、都市計画マスタープランで新産業エリアとして位置付けられ、都市計画上は一般保留地になっている。今後の取り組みについて伺う。

市長 空港周辺地域における物流拠点として開発を進めてきており、今後地域や地権者のご意見を伺い、都市的土地利用を目指していきます。

矢野目西地区をどう開発

問 ここは一反歩区画で用水と排水が兼用で水の管理が難しい水田である。第1エリアの売れる見通しがついてきた。市の企業誘致に当たり大きな面積がある。今後、矢野目西地区開発をどのように進めていくのか伺う。

市長 今後は民間の力をいただきながら開発を想定しており、進出を希望する会社の意向を取りまとめて開発可能性を探り、積極的に取り組む姿勢に変更はありません。

問 フロンティアパーク内に小型風力発電機を製造するメーカーが（土地を）購入した。今後、新たに進出する情報があるのか伺う。

地方創生推進課長 宮城県の土地開発公社より地内に幾つかの企業が進出希望を示していますが、分譲の時期等は伺っていません。

問 岩沼インター周辺は住居、商業用地、工業用地なのか、具体的にはどのような可能性があるのか。

都市計画課長 玉浦西地区や里の杜地区に隣接する土地については商業系や住宅系、インターチェンジ隣接地は工業系の土地利用を想定しています。

問 宮城県津波浸水想定が公表されたことにより企業誘致への影響と対策についてどのように考えているのか。

総務部長 今後企業から問い合わせがあった際には、津波浸水想定趣旨や、市の震災復興での取り組みを丁寧に説明し、少しでも不安を解消していくように努めたいと考えます。

◎その他の一般質問
・新庁舎建設